

結核の 10 の事実

出典

厚労省 FORTH / WHO. Fact files, Media centre. 13 October 2016 10 facts about tuberculosis

<http://www.who.int/features/factfiles/tuberculosis/en/>

最近、多剤耐性結核が世界で拡がりをみせていることに伴い、WHO が結核についての現状を 10 項目にまとめて公表しています。WHO は、「結核撲滅のための戦略」で 2030 年までに世界から結核をなくすという目標を掲げています。

世界の人々のおよそ 3 分の 1 が、結核菌 (TB) に感染しています。結核は、感染したうちのわずかな割合の人しか、発病しません。免疫力が低下した人は、結核が発病するかなり大きなリスクを持っています。HIV 感染者が結核を発症する可能性は約 26~31 倍も高くなります。

2030 年に向けて継続する活動目標の一つは、世界から常在する結核をなくすことです。2014 年の世界保健総会で承認された「WHO 結核撲滅のための戦略」では、2015 年と比較して、2030 年までに結核死亡数で 90%、結核罹患率で 80% の低下を求めています。

WHO から公表された新しいデータでは、世界で推定される結核の脅威は以前よりも高くなっていることが明らかになりました。「結核撲滅のための戦略」の目標を、今後 15 年間で達成する場合には、各国が、結核の予防、発見および治療に対し、今以上に力を入れる必要があります。

事実 1: 2015 年に、世界では推定 1,040 万人が新しく結核患者となりました。インドを筆頭に、次いで、インドネシア、中国、ナイジェリア、パキスタン、南アフリカの 6 か国で、全体の 60% を占めています。結核は治療可能で予防もできる病気です。

事実 2: 2015 年には、180 万人が結核で死亡しました (HIV 感染者 40 万人を含む)。世界で、10 人のうち 1 人が結核で死亡し、HIV やマラリアよりも上位となっています。

事実 3: 2015 年には、100 万人の子どもが結核を発症し、21 万人 (HIV 感染者 4 万人を含む) が結核で死亡しました。小児の結核は、診断と治療が難しいために、しばしば、医療従事者からは見落とされています。

事実 4: 結核は HIV 感染者の最大の死亡原因です。HIV 感染者の死因の約 35%が結核となっています。2015 年に、抗ウイルス薬で治療している HIV 陽性患者において、結核の割合は 78%にもなりました。

事実 5: 世界で結核を発症した人の数は、2000 年から 2015 年にかけて減少傾向にあり、結核での死亡者は 22%にまで減少しました。2010 年以降、その死亡数の減少率は、東地中海地域とヨーロッパで最も高く(それぞれ、年 6.5%と 6.2%)、アフリカ地域では最も低く(年 2.2%)なっています。

事実 6: 2015 年には、結核が高い脅威となっている 30 か国での新しい結核患者が 87%を占めていました。結核は世界中で発生していますが、患者の大半はアジア(61%)とアフリカ(26%)です。

事実 7: 2015 年には、世界中で約 48 万人が多剤耐性結核となりました。これらの患者では、さらに多剤耐性結核が重症の状態となり、治療が難しくなります。超多剤耐性結核(XDR-TB)は、さらに治療可能な薬剤が少なくなる病態の結核です。

事実 8: 2000 年から 2015 年までに、結核の治療で推定 4,900 万人の生命が救われました。しかし、重要となる診断と治療との解離は残っています。結核患者の治療成功の割合は、2014 年には 83%となりました。

事実 9: 2015 年に結核に感染したであろう 1,040 万人のうち、2015 年に発見され、報告されたのは 610 万人だけでした。430 万人もの解離があります。世界での結核患者の減少割合は 2014 年から 2015 年にかけて 1.5%に留まりました。2020 年にストップ結核戦略の試金石に達するには年 4-5%まで減少率を加速させる必要があります。

事実 10: 結核の治療と予防に関して、低所得国と中所得国に対する投資は、2016 年に必要とされる 83 億米ドルに 20 億米ドル不足していました。もし、現在のレベルで基金が増えなければ、2020 年には、この解離がさらに大きくなります。

<http://deo.2lala.net>

曲友(かねとも) 特殊清掃事業部 札幌

曲友(かねとも)